

日能研	6年		
	算数		
学習内容	6月の学習内容 33 図形と比② 34 速さと比・旅人算と比 35 進行グラフと比・図形上の点の移動 36 過算・時計算・流水算		
家庭学習ポイント	6月は平面図形を終え、速さの単元に進んでいきます。第33回は「図形と比②」です。図形の拡大と縮小、そして「相似」ということについて学習します。2つの三角形が相似であるためには「2つの辺の長さの比、その間の角の大きさが等しい」や「2つの角の大きさが等しい（結果として3つの角の大きさが等しい）」があります。特に「2つの角の大きさが等しい」は中学受験の問題では頻出です。第34回から速さの単元に入ります。積極的に比を使って速さの問題に取り組んでいきます。まずは速さの単位換算や基本公式の使い方の復習からです。「考えよう4」から本格的に比を使った速さの問題の解法がどんどん出てきます。比の数字であっても、普通の速さや時間の数字と同じように「速さ×時間＝道のり」の公式に当てはめて計算できることを実感として学んでいくのがこの回の最重要ポイントになります。第35回ではダイヤグラムの使い方の復習、図形上の点の移動に関する学習です。動きが複雑な旅人算や時間の要素が重要な速さの問題など、ダイヤグラムで解くことに適している問題をしっかり思い出しておきましょう。第36回は「過算・時計算・流水算」です。		
課題の把握と解決策	チェック1	相似な三角形を見つける際、2つの角の大きさに注目していますか？	チェック
	解決策	中学入試の問題における三角形の相似の手がかりは、多くが「2つの角の大きさ」です	□
	チェック2	速さの単位換算で間違っていないですか？	チェック
	解決策	特に通過算では「時速○km ⇒ ÷ 3.6 ⇒ 秒速□m」「秒速□m ⇒ × 3.6 ⇒ 時速○km」をよく使います	□
	チェック3	どんな問題がダイヤグラムの使用に適しているかを意識していますか？	チェック
	解決策	グラフにする最大の利点は「時間の経過を目に見えるように書き表せること」です	□
	チェック4	通貨算では必ず図を書いて解いていますか？	チェック
	解決策	「解ける」と確信してもササッと図を書くことでミスを防げるものです	□
	チェック5	流水算では「上りの速さ・下りの速さ・静水上の速さ・流速」を書き出してまとめていますか？	チェック
解決策	流水残の問題を解く上で「鉄則」と言ってもいいですね。端折るとミスの原因になります	□	
日能研	6年		
	国語		
学習内容	6月の学習内容 33 韻文を含む文章 34 場面の移り変わり 35 主題へつながる心情 36 比喩で表現されていること		
家庭学習ポイント	第33回は「文章中の韻文の効果をとらえる」で、詩の主題を捉える練習です。主題とは、その詩で作者が最も伝えたかったことです。語句については前回に引き続き品詞を学習していきます。第34回は物語文の読解で「場面」を捉える練習です。場面とは物語の中で「誰が・どこで・いつ・何を・なぜ・どうした」などを表現するものですが物語文では場面の变化、描写によって登場人物の心情（の変化）を表現することが多く、非常に重要な読解技法です。第35回は同じく物語文の読解で、心情を類推することがテーマです。34回に引き続き登場人物の心情の読み取りですが、心情については多くの物語文では直接表現されません。ですから登場人物の行動や会話、出来事、情景描写などから推測することが必要で、それが読解の技術となります。第36回では比喩的表現の読み取りがテーマです。特に難関校では、比喩表現を読み取り、そこから登場人物の心情を記述させる問題が増えていきます。この回で技術をマスターしてしまいましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	詩の「主題」をとらえられるようになっていきますか？	チェック
	解決策	詩に書かれていることだけでなく、筆者の経験や作品の時代背景などにも注意しましょう	□
	チェック2	物語文は「場面の变化＝登場人物の心情の変化」をとらえていますか？	チェック
	解決策	物語文においては定番の表現技法です	□
	チェック3	登場人物の言動や情景描写から心情を読み取ることができていますか？	チェック
	解決策	物語文の読解の最大のポイントは「心情」を読み取ることにあります	□
	チェック4	語句の学習をコツコツと続けていますか？	チェック
	解決策	朝学習などで少しずつでも積み上げていきましょう。	□
	チェック5	比喩表現から登場人物の心情の変化を読み取れていますか？	チェック
解決策	物語文ではあらゆる表現で「心情」が描かれていると考えましょう	□	

日能研	6年		
	理科		
学習内容	6月の学習内容 33 光の性質 34 電流① 回路を流れる電流 35 電流② 電流と発熱・磁力 36 力とつり合い① ばねとてこ		
家庭学習ポイント	第33回は「光の進み方」です。「光の性質」から始まり、「鏡による反射」「反射によって見える範囲」「凸レンズと光（作図を含む）」などがテーマです。特に難関校では頻出のテーマになります。第34回、35回は電流がテーマになります。34回は電気回路と豆電球に流れる電流（豆電球の明るさ）、35回は電熱線や電磁石などがテーマです。電流に関する全分野の基本となるのは「オームの法則」の理解ですが、小学生は中学受験をする子でも「オームの法則」という言葉は習いません。ただしその内容理解は重要です。「電熱線の長さが長い（豆電球が直列）＝通りにくい道が長くなり、さらに通りにくい＝電気抵抗が大きい」「電熱線の断面積が大きい（豆電球が並列）＝通りにくい道が広くなって通りやすくなる＝電気抵抗が小さい」というイメージをしっかりとつけることが重要です。第36回は力学（ばねとてこ）です。いずれも5年生まではそれぞれ単独で1回以上の授業回数がありましたが、6年生の保の時期には2つまとめて1回の授業で復習します。1回あたりの情報量が多く大変ですが、しっかり知識の確認を行っていきましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	凸レンズの作図が正しくできますか？	チェック
	解決策	難関校では作図自体が頻出といえます。しっかりおさえておきましょう	□
	チェック2	豆電球の明るさに関する問題で、不安な点や「ちんぷんかんぷん」はないですか？	チェック
	解決策	これが最後の機会、と考えて復習しておいてください	□
	チェック3	電流・電圧・電気抵抗のイメージがしっかりできていますか？	チェック
	解決策	電流＝回路を流れる水、電圧＝水を吹き出すポンプ、電気抵抗＝水が流れにくい場所、のイメージ	□
	チェック4	ばねの問題では必ず「ばねの自然長と伸び」を書き出して解いていますか？	チェック
	解決策	ばねの問題を解く際の「作法」と考え実行しましょう	□
	チェック5	てこの問題では支点の位置に△、かかる力の大きさを↓や↑で書き込んでいますか？	チェック
解決策	こちらも力学の問題の「作法」と考え実行しませてください	□	
日能研	6年		
	社会		
学習内容	6月の学習内容 33 大正デモクラシーと日中戦争への道 34 太平洋戦争と戦後日本のあゆみ 35 日本国憲法の三原則 36 三権のしくみとはたらき		
家庭学習ポイント	歴史は近現代、その後公民分野を駆け足で学習して夏期講習を迎える、というのが日能研の6年生社会科6～7月カリキュラムです。第33回は大正時代の政治と日中戦争までの経緯がテーマです。大正時代は1912年～1926年と短いですが、様々な社会運動が生まれた時期です。「ロシア革命⇒シベリア出兵⇒国内の米の買い占め⇒米騒動⇒さまざまな社会運動が活発に」といった流れを物語的にとらえておくといいですね。第34回は太平洋戦争～現代となります。太平洋戦争の勃発～戦後までは、非常に短い期間に大きな事件が次々と起こります（今他国で起こっている戦争のことを考えても想像できると思います）。このような場合は特に「丸覚え」は役に立ちません。「世界恐慌⇒満州事変⇒五・一五事件⇒国際連盟脱退⇒二・二六事件⇒日中戦争」と、流れ、ストーリーで理解していくほうがよほど覚えやすく、楽でもあります。考えようによっては勉強しやすい時代です。		
課題の把握と解決策	チェック1	大正時代の社会運動について、順を追って説明できますか？	チェック
	解決策	時代の背景をしっかりと理解して暗記しましょう	□
	チェック2	世界恐慌から第二次世界大戦までの流れを、順を追って説明できますか？	チェック
	解決策	「丸覚え」ではなく順を追って「ストーリー」で理解することが大切です	□
	チェック3	日本国憲法の三原則を答えられますか？	チェック
	解決策	国民主権・基本的人権の尊重・平和主義ですが、戦前～戦後の歴史学習からも理解できますね	□
	チェック4	日本国憲法の交付日、施行日を答えられますか？	チェック
	解決策	いずれも祝日になり、1946年11月3日（文化の日）と翌年5月3日（憲法記念日）ですね	□
	チェック5	三権分立の内容を正しく説明できますか？	チェック
解決策	国会・内閣・裁判所が相互に監視、抑止するシステムを具体的に答えられるようにしておきましょう	□	